

事業所名		こども通所支援事業所 はなのうら			
チェック項目	評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)
	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等	
環境・体制整備	①	○		指導訓練室等、目的別に使用出来る部屋を4室有しており、利用児を適切に受け入れることができます。	
	②	○		各部屋の用途に合わせて職員配置を工夫し、死角が出来ないようにしています。	
	③	○		平成29年5月の建て替え時に、バリアフリー化に十分配慮しました。	
	④	○		遊戯室等を4部屋有し、十分なスペースが確保されています。 また、目的別に使用できるように、部屋ごとに環境設定しています。	
業務改善	⑤	○		会議や、毎日の打ち合わせの際に職員全員で行っています。	
	⑥	○		アンケートを通じて保護者の意向を把握し、結果をもとに、職員全員で検討し、業務改善につなげています。	
	⑦	○		事業所内に掲示しています。また、はなのうらのHPにも載せています。	
	⑧		○		第三者評価を受審していません。 今後、外部評価機関などの外部評価の受審体制を整えば、受けたいと考えています。
	⑨	○		障害特性をより理解できるような支援についての研修をパート（契約）職員も受講しています。	

チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、利用児と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		年2回、アセスメントを行い、児童発達支援計画を作成しています。	
	⑪	利用児の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		市内共通のサポートファイルと指標のチェックリストを活用したフェイスシートを使用してアセスメントを行っています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		おやつ作りやごっこ遊び、創作活動など利用児が主体的に活動することで楽しみながら成功体験できるように工夫しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		利用児の自主性を尊重しつつ、集団ルールが守れるよう環境を整備し、職員が統一した支援を行うようにしています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		活動プログラムについては、職員全員でミーティングし、毎月の案と毎日の案を作成しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		活動プログラムについては、職員全員でミーティングし、毎月の案と毎日の案を作成しています。	
	⑯	利用児の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		利用児の特性や状況を踏まえて、個別活動や集団活動のバランスを考えながら作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝のミーティングで細かく打ち合わせし、確認しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		送迎等もあり、支援終了後ではなく、翌朝のミーティングにおいて前日の振り返りを行い、気付いた点を共有しています。	
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録を正しくとることを徹底し、その記録をもとに検証・改善を行っています。 引き続き、サービス会議や日々のミーティングの中で検証等を行っていきます。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		年2回、モニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しています。		

チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用児の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		出席前には、利用児の状況をスタッフ全員で詳細に検討し、利用児を担当する職員が参加しています。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		こまめに情報共有を行い、連携した支援が出来るようにしています。	
	㉒	(医療的ケアが必要な児童や重症心身障害のある児童等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	非該当			
	㉓	(医療的ケアが必要な児童や重症心身障害のある児童等を支援している場合) 児童の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	非該当			
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		相談支援事業所へ提供された情報については、可能な限り共有できるようにお願いしています。また、直接の依頼にも出来る限り情報を提供するようにしています。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		相談支援事業所へ提供された情報については、可能な限り共有できるようにお願いしています。また、直接の依頼にも出来る限り情報を提供するようにしています。	
	㉖	児童発達支援センターや他の児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センター等主催の研修には積極的に参加するようにしています。 また、児童発達支援センターを利用している利用児については連携し、助言を受けています。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない児童と活動する機会があるか	○		利用児の特性もあり、多くはありませんが外出支援等を通して機会を作っています。また、利用児は保育所や幼稚園との併用利用をされていることが多いため機会があります。	
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		管理者は、防府市子ども発達支援部会の部長であり部会や、防府市地域総合支援協議会にも参加しています。	
	㉙	日頃から利用児の状況を保護者と伝え合い、利用児の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者とは、連絡帳や、送迎の際の会話を通じて利用児の状況や課題について共通理解を図るよう努めています。	

チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)	
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等		
保護者への説明責任等	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		ペアレントトレーニングの研修に参加し、研修の成果を踏まえて支援に努めています。		
	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際、また質問があった際には説明をしています。		
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談があった際には、必要な助言が出来るよう支援しています。		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会を開催していません。	保護者会の開催については、必要性や保護者の要望があれば、対応していきたいと考えていますが、保護者からの要望はありません。
	③⑥	利用児や保護者からの苦情、相談及び申入れについて、対応の体制を整備するとともに、利用児や保護者に周知し、苦情、相談及び申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情相談窓口を設置し、苦情や相談には、担当職員が、迅速かつ適切に対応しています。		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用児や保護者に対して発信しているか	○		「はなはな日記」を定期的に作成し、活動概要等を保護者にお知らせしています。 また、日々の連絡帳に写真を添えるなど、きめ細かく情報を発信しています。		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		当事業団の「個人情報保護規程」等に基づき、利用児ケース記録等は鍵付ロッカーで保管するなどの対応を行っています。		
	③⑨	障害のある児童や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用児に合わせて、絵カードや写真等を利用した支援を取り入れ、より理解が進むよう配慮しています。保護者の方にはその状況を送迎時や連絡帳で報告し、共有できるようにしています。		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		本体の夏祭りの際には、通所スペースでも体験等のイベントを行い利用児やその家族等に参加してもらっています。また、利用児童のいない時間帯は、見学やスヌーズレンの一般開放を随時受け付けています。		

チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等	
非常時等の対応	④1	○		各マニュアルを分かりやすく施設内に掲示し、周知を図っています。		
	④2	○		毎月、本体と一緒に避難訓練を行っています。		
	④3	○		保護者に確認していません。服薬については利用の際に服薬表の記入をお願いし、服薬の報告を行っています。		
	④4	○		アセスメントの際、保護者から医師の指示書のコピーを提出して頂き、対応しています。		
	④5	○		ヒヤリハットをもとに報告書を全員回覧し、情報を共有するとともに、改善を図っています。 また、園内で開催されているリスクマネジメント委員会に参加し、事例の分析・共有にも努めています。		
	④6	○		虐待防止のポスターなどを、目につきやすいところに掲示したり、人権・虐待防止に関する本体の研修に職員が参加しています。		
	④7	○		利用児や保護者に事前に丁寧に説明し、同意書を頂いて支援計画に記載しています。 現在、拘束事例ありません。		
その他	④8	○		利用児の状況に応じて、運転手の他に職員を配置するなど、安全に配慮しています。		
	④9	○		家族の情報をもとに管理栄養士のアドバイスを受け、体格や年齢に応じた量、障害特性・発達段階に合わせた食事形態で提供しています。		